

平成26年10月31日

柵原西小学校保護者の皆様

柵原西小学校 校長 寺元文雄

平成26年度全国学力・学習状況調査結果と今後の取組について

晩秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のことと拝察いたします。平素より本校教育に対しまして温かいご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

今、子どもたちは8日の学習発表会に向けて、心を一つに一生懸命練習や準備に頑張っているところです。ぜひ、楽しみにお出でください。

さて、美咲町広報誌11月号にも掲載しておりますが、4月に実施されました全国学力・学習状況調査結果や今後の取組につきまして、少し詳細にお知らせいたします。

- 本調査の目的 児童・生徒の学力〈国語・算数の基礎基本（A問題）と応用力（B問題）〉および学習状況を把握分析することにより、教育委員会や学校が教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 本校の成果
- 漢字の読み書きや四則計算など基礎力が伸びている。
 - 言葉の意味がわかり、正しく使うことができる。
 - 話す・聴く力が次第に育ってきている。
 - 読書が好きな子や地域活動に参加している子が多い。
 - 無回答が少なくなっている。
- 本校の課題
- ・ 情景描写や問題の意味を正しく読み取る力が不十分である。
 - ・ 自分の考えを文にまとめるなどの書く力が弱い。
 - ・ 数量関係や図形など生活とつなげて考えることが苦手である。
 - ・ ゲームの時間が長く、家庭での学習時間が短い傾向がある。
- 本校の取組
- ☆ 教育相談を行うなど子どもの理解や支援に努めるとともに、子どもの「やる気」と「自信」を高める活動を進める。
 - ☆ 基礎基本の定着を図るため、「朝学習」「すっきりタイム」「放課後フリータイム」などの時間を中心に、「めざせ算数はかせ」や「漢字名人」などのプリント集などを活用し、習熟練習に取り組む。
 - ☆ 返事、話形、聴き方、学習用具、ノートのとり方など、学習規律の定着を図る。
 - ☆ 「どの子もわかる」工夫に努めるとともに、グループでの話し合いや書く活動を取り入れるなどの授業改善に取り組む。
 - ☆ 読み聞かせボランティアや司書の協力も得ながら、図書室の充実や読書時間の確保など読書活動を進める。
 - ☆ 宿題や自主学習（トレジャーノート）のすすめなど家庭での学習習慣の定着を図る。
 - ☆ PTA等と連携し「メディアとの上手な付き合い方」や「ぱっちりモグモグ チャレンジカード」などに取り組み、生活習慣の改善を図る。
 - ☆ 地域へ出かけたり地域の外部講師を招いたりして生活に根ざした体験活動を重視する。また、保護者や地域の方々の力をお借りしながら、地域全体で子どもを育てる取組を進める。

以上ですが、年によって全国や県の平均を上回ったり下回ったりしますので、一喜一憂しないで、その年その年の子どもたちの実態や数年の傾向を見ながら、本校の成果や課題を把握・分析し、子どもたちに着実な力が付くよう、全職員で、そしてご家庭や地域の皆様と力を合わせて取り組んでまいりたいと思います。今後とも、温かいご理解とご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。